

日本発ドイツ便り～バスでベルリン観光

ドイツの首都ベルリンですが、どうもパックスツアーなどに含まれることが少ないような気がします。今回、4年ぶりのベルリン訪問でしたが、行く度に何か新しくなっている(特に旧東側)のがこの街です。西と東の格差が段々なくなってきたのがその理由かもしれませんね。

ベルリンと一言でいいますが、広いです。面積が約890平方キロメートル(何の参考にもなりません、東京が約620平方キロメートルだそうです。)

人口は350万人くらい。面積の約45%は森林や湖・河川です。

街の中にはたくさん見所がありますが、ウィーンなどのようにある地域に見所が集まっている、というのでもないで、結構移動が必要になります。

地下鉄、Sバーン、バス、路面電車と交通機関が充実しているので、路線図片手に一日乗車券を買えば、どこでも乗り降り自由です。

この広いベルリン、実はバスでの観光が便利です。

バスといっても、「はとばす」みたいな観光バスではなく、よくあるHop On Hop Offの観光バスでもありません。普通の路線バス。その名も「100番」と「200番」バスです。なので、1日乗車券で乗り放題です。☺

ベルリンのバスはみんな黄色で、2両つながっているものとか、2階建てのものがあります。

100番、200番のバスは2階建て。やっぱり2階席が人気のようで、乗ったら下には人がまばらだけど、2階は満席。なんてことがよくあります。

旧東側の観光名所、ドイツ大聖堂、オペラ座、フンボルト大学、世界遺産の博物館島、市庁舎、テレビ塔、世界一美しいと言われるジャンダルメンマルクト、そして西側の国会議事堂、首相官邸、動物園などなど、観光名所で停車します。(200番バスは、ベルリンフィルハーモニーのコンサートホールやソニーセンターのあるポツダム広場にも行きます。)



国会議事堂と100番バス。

ものすごく寒い日だったので、この写真を撮ってから走ってバスに飛び乗りました。

寒い日は暖房の効いているバスは特に人気で、みんな地図を片手に、車窓から観光です。降りる人がいないと乗れない+本当に降りれるんだらうか?と心配になるくらい混んでいることもあります。といっても平日の昼間なら5~10分も待てばすぐ次のバスが来るので、心配は不要です。(土日や夜間はもう少し間隔が開きます。)



ベルリンフィルハーモニー前のバス停。H というのは Haltstelle(ハルトシュテレ:停留所)です。あ、ところで、ドイツ語でバスは英語と違って、BUS の綴りどおり「ブス」と発音します。これは(特に女性の方は)ショックを受けないように、覚えておいたほうがいいと思います。☺



バス2階の一番前に陣取ってちょっと観光。目線が高いので、結構面白いです。これは旧東側の市庁舎です。下に見える小屋は「クリスマス市」の跡です。



ブランデンブルク門まではバスではいけません(手前で降りて徒歩でどうぞ)、森鷗外も歩いたこの大通り、Unter den Linden(ウンター・デン・リンデン通り)春には菩提樹の葉っぱが色鮮やかです。ここを散歩するのも楽しいですよ。(散歩のお供には、途中にある屋台で、カーリヴルストをどうぞ。)ちょっと不思議ですが、目の前を横切る青いパイプはどうやら水道管のようです。左側のグリーンの屋根は、ドイツで一番、世界ランキングでも上位にランキングされるホテル、Adlon(アドロン)です。映画「グランドホテル」の舞台になったのがこのホテルです。



ブランデンブルク門。この日は丁度大晦日の大カウントダウンパーティーの準備中でした。後ろに見えているグレーのところは舞台になっていました。このあたり一帯がヨーロッパのカウントダウンのパーティー会場になるんですよ。(毎年テレビ中継があります。)

今回は、滞在時間も短くて、また音楽を聴きにいたので、大して観光はしてないです。が、ベルリンは、歴史と現代が融合して、どんどん進化している面白い街だと思います。そいえば今年

はベルリンの壁崩壊 20 周年ですね。きっと色々なイベントが企画されているのだと思います。見所たくさんベルリンですが、道も美術館も博物館もお城も、なんだかやたら広いので、一日でかなりの距離を歩くことになります。ちょっと疲れたら、バスに乗って休憩もいいですね。あとは、車窓から「！お！」と思うものがあれば、次の停留所で降りてみる。というのもなかなか楽しいです。

あとは、ちょっと遠出して、世界遺産ポツダムまで行くとか、(ポツダム宣言で有名ですね。)ベルリンを流れるシュプレー川沿いにある広大な森に行ってみるとか、滞在日数にあわせて楽しみ方も色々です。

お勧めのレストラン、カフェもたくさんありますよ。
ベルリンに行かれる方、是非ご相談ください！